

2022年9月に開店した豊洲店(東京都江東区)



第 68 期

報 告 書

2022年3月1日～2023年2月28日



株式  
会社

ライフコーポレーション

## 「第七次中期経営計画」の取り組みを加速させ、 「お客様からも社会からも従業員からも 信頼される日本一のスーパーマーケット」 の実現を目指します。



代表取締役社長執行役員  
岩崎高治

### 当期の外部環境

株主の皆様には、平素より格別のご支援並びにご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第68期事業年度の概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ社会経済活動の正常化が進められてきました。一方では、不安定な国際情勢を背景とした資源価格の上昇によるコストプッシュ型インフレの進行、欧米をはじめとする世界規模での景気停滞、円安の影響等により、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、業種・業態の垣根を超えた競争の激化、原材料の調達価格の上昇、水道光熱費や人件費をはじめとした各種コストの上昇、実質賃金の減少による節約志向の拡大等、企業運営を取り巻く環境は厳しさを増しております。

### 当期の取り組み状況

当連結会計年度は、お客様に信頼される地域一番店を実現するために2018年度からスタートした第六次中期経営計画の総

仕上げの年度と位置付け、同質化競争から脱却し差別化を推進するとともに各種施策に取り組んでおります。具体的には、からだに優しい素材や製法、健康や自然志向にあわせたプライベートブランドである「BIO-RAL（ビオラル）」をはじめとしたオリジナル商品の開発強化、「BIO-RAL（ビオラル）」の考えに基づいた品揃えコーナーの設置店舗を全店舗の約8割にあたる240店舗に拡大、Amazonプライム会員向けサービスを含むネットスーパー事業の拡大、積極的な出店等に取り組んでおります。

また、2022年4月に旗艦店として開店した「セントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店」については、「日々のお買い物、便利から楽しいへ」をコンセプトとした『セントラルスクエア』と「オーガニック、ローカル、ヘルシー、サステナビリティ」をコンセプトとする『BIO-RAL（ビオラル）』の2業態の要素に、リアル店舗とネットスーパーを融合させた次世代スーパーマーケットと位置付け、多くのお客様からご支持をいただき好調に推移しております。

更に、持続可能で豊かな社会の実現に向けた取り組みとして、年間4,000トン以上の食品廃棄物の削減と再生可能エネルギーの創出を実現する業界最大規模の天保山バイオガス発電設備を2022年3月から本稼働し、2023年1月に農林水産省、消費者庁、環境省の連携プロジェクトが主催した「サステナアワード2022伝えたい日本の“サステナブル”」において、『天保山バイオガス発電設備』が『脱炭素賞』を受賞いたしました。また、東京本社・大阪本社及び大阪本社に隣接するセントラルスクエア西宮原店において使用している電力を2022年4月から全て再

生可能エネルギー由来の電力に切り替えております。併せて電力価格高騰、電力逼迫への対応として店舗及び本社では、空調の設定温度調整や照明の一部消灯等の節電に取り組んでおります。

また、社会貢献の一環として、京都市等が立ち上げた支援組織「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク」に協力するため、京都市内在住のウクライナから避難された方々へ食料品・生活用品を提供いたしました。

新規店舗は、上記のセントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店（東京都）に加え2022年4月にカメイドクロック店（東京都）、堀川北山店（京都府）、5月にビオラル新宿マルイ店（東京都）、7月に守口滝井店（大阪府）、西荻窪店（東京都）、9月に豊洲店（東京都）、花園中央公園店（大阪府）、四条大宮店（京都府）、10月にビエラ蒔田店（神奈川県）、12月に市谷薬王寺店（東京都）の11店舗を出店するとともに、既存店舗では、初芝店を2021年1月に建替工事のため一時閉店し、仮店舗「初芝東店」にて営業を継続しておりましたが、2022年12月に新しい“初芝店”として復活いたしました。また、志紀店、大淀中店、市川国分店で健康志向・簡単・便利に対応した商品群、冷凍食品等の品揃えを拡充するとともに、セントラルスクエアなんば店別館に近畿圏最大規模の「BIO-RAL（ビオラル）」コーナーを設置する等4店舗で大型改装を行いました。

### 当社グループの業績と今後

当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。この結果、前連結会計年度と収益の会計処理方法が異なることから、以下の経営成績に関する説明において、営業収益及び売上高については、増減額及び前期比（%）を記載しておりません。

当社グループの業績におきましては、新規店舗、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベートブランド商品の強化、おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は7,654億26百万円となりました。一方、販管費は、水道光熱費の高騰、新規出店に伴う賃借料等の各種物件費の増加に加え、採用強化等に伴う人件費も増加し、営業利益は

191億48百万円（前期229億32百万円）、経常利益は200億15百万円（前期236億95百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は133億27百万円（前期152億8百万円）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門3,232億47百万円、一般食品部門3,275億77百万円、生活関連用品部門646億67百万円、衣料品部門230億1百万円となりました。

また、株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は25億77百万円（前期24億15百万円）、セグメント利益は3億32百万円（前期1億39百万円）となりました。

当社は第六次中期経営計画での反省及び外部環境の変化を踏まえたうえで、当社の現状課題を再確認しつつ、さらなる飛躍に向け、2030年度に当社が目指す姿を見据えて、経営理念・ビジョン・ライフらしさ宣言の実現に向け、2023年度より新たにスタートする「第七次中期経営計画」を策定いたしました。当社が取り組む主要なテーマは以下の3つです。

- ・人への投資～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップが、第七次中期経営計画を前進させ会社の成長につなげることを目指します。
- ・同質化競争からの脱却～シームレスにつながる便利なお買い物実現に向け、ライフにしかない「商品」「サービス」に磨きをかけつつ「ネット事業」を拡大し、お客様に快適な買い物体験を提供することを目指します。
- ・持続可能で豊かな社会の実現への貢献～「地域のライフライン」として、持続可能で豊かな社会のために必要な取り組みを実施（環境負荷低減、地域社会への貢献等）することを目指します。

また、3つのテーマを推進するにあたり、人手不足の状況でも第七次中期経営計画をやり遂げるための効率化推進及び第七次中期経営計画実現に向けた投資の原資を確保するため、『「カイゼン」の輪をつなぐ』のスローガンのもと全従業員自ら「カイゼン」活動に取り組んでまいります。

以上に掲げた施策により、「お客様からも社会からも従業員からも信頼される」事業体として、企業価値の向上と持続的な成長を目指していく所存であります。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

## 新規出店 NEW!

### 11店舗を新規出店

当期は2022年4月にセントラルスクエア恵比寿ガーデンプレイス店、カメイドクロック店、堀川北山店、5月にビオラル新宿マルイ店、7月に守口滝井店、西荻窪店、9月に豊洲店、花園中央公園店、四条大宮店、10月にビエラ蒔田店、12月に市谷薬王寺店を新規出店いたしました。

#### NEW! 1 豊洲店 東京都江東区(2022年9月 開店)

豊洲は再開発が進んでおり、レジャー施設や商業施設など新スポットが続々と建設されている人気エリアです。高層マンションの建設も多く、2040年までに約15%の人口増加が見込まれています。

江東区はお子様がいる世帯数の割合が東京都内で一番多いため、ジャンボパックや冷凍食品、簡単・便利なミールキットなど豊富に品揃えを行っております。また、豊洲市場が開いている日は毎日新鮮な魚を直送し、対面販売を行っております。

高鮮度・豊富な品揃えで信用されて頼りにされる地域一番店を目指します。



#### NEW! 2 四条大宮店 京都府京都市(2022年9月 開店)



当店が位置する四条大宮エリアは、交通アクセスの良さから20~40代に人気で、人口・世帯数ともに年々増加している京都市中心部地域です。

単身・ニューファミリー世帯が多い地域のため、お仕事や家事・育児で忙しい毎日の中でも、ご家庭でおいしいお食事をとお楽しみいただける時短・簡便商品の品揃えを充実させました。

地域ニーズにも対応し、京都市内店舗限定の商品や、健康に配慮したこだわり商品をご用意いたしております。

いつものお買い物が「ワクワク」して楽しく、「便利」でご満足いただける居心地の良いお店を目指します。

#### NEW! 3 ビエラ蒔田店 神奈川県横浜市(2022年10月 開店)

横浜市旧南区総合庁舎跡地に、地域交流施設・医療施設・生活利便施設などが設置された複合施設「VIERRA蒔田」が誕生し、その1階に開店いたしました。

1km圏内にお住まいの約半数が1人世帯ですが、2~3人世帯の割合も首都圏の平均より高いため、お客様それぞれのご要望にお応えできるよう少量から通常・大容量サイズまで幅広くご用意いたしております。

「毎日の暮らしに必要な商品」と「お買い物の楽しさ」をご提供し、お客様からも従業員からも信頼される地域一番店を目指します。



### 初芝店を建替オープン

2021年1月に建替工事のため一時閉店し、仮店舗「初芝東店」にて営業を継続しておりましたが、2022年12月に新しい「初芝店」として復活いたしました。

#### NEW! 4 初芝店 大阪府堺市(2022年12月 開店)

##### 「ライフらしさ」を詰め込み、衣食住が揃って2年ぶりに復活!

新店舗では1フロア当たりの売り場面積が広くなり、食料品の品揃えを拡充いたしました。

旧店舗より日用品・衣料品売り場を復活させ、ドラッグコーナーを新設し、一度のお買い物で欲しい物が揃うワンストップショッピングを実現いたしました。

シニア層のお客様に加えて、子育て世代の方にもご満足いただける地域一番店を目指します。



##### 2階生活関連コーナー

新店舗では、ドラッグコーナー新設のほか、書籍も取り扱い、衣食住が揃うワンストップショッピングを実現いたしております。



##### 環境への取り組み

屋上に設置した太陽光発電設備にて再生可能エネルギーを創出することで、CO<sub>2</sub>排出量を削減し持続可能で豊かな社会の実現に貢献いたします。年間で約14万kWhの発電を見込んでおり、店舗の使用電力の一部として活用いたしております。



既存店舗の改装 RENEWAL!

4店舗の大型改装とビオラル1店舗の改装を実施

当期は志紀店、大淀中店、市川国分店、セントラルスクエアなんば店別館の4店舗を改装し、店舗の活性化を図りました。また、2016年に誕生したナチュラルスーパーマーケット1号店の「ビオラル靱店」を改装オープンいたしました。

RENEWAL 1 セントラルスクエアなんば店別館  
大阪府大阪市(2022年9月 改装)

「オーガニック、ローカル、ヘルシー、サステナビリティ」をコンセプトとした大型の「BIO-RAL(ビオラル)」コーナーを導入いたしました。

木目調で温かみのある専門店のような雰囲気の内装で、健康志向や安全・安心へのニーズにお応えするため、自然の恵みを生かした「オーガニック」商品、関西で育てられたおいしい「ローカル」商品、体に優しい「ヘルシー」商品、環境に配慮した「サステナブル」な商品を豊富に取り揃えております。

ナチュラルライフスタイルを提案し、お客様の心と体の健康と豊かな毎日をお手伝いできるような魅力あるお店を目指します。



RENEWAL 2 ビオラル靱店  
大阪府大阪市(2023年2月 改装)



健康や添加物に配慮した商品の拡充、利便性とおいしさから人気が高まっている冷凍食品売り場の拡大、ビオラル店舗限定のお惣菜など、お客様の健康と美しく豊かな毎日を応援する新商品が種類豊富に登場いたしました。

コロナ禍によってさらに高まる健康志向や、安全・安心のニーズにお応えするため、引き続きお客様の心と体の健康と豊かな毎日をお手伝いできるような、魅力ある商品を提供してまいります。

サステナビリティ



『天保山バイオガス発電設備』が『脱炭素賞』を受賞

農林水産省、消費者庁、環境省の連携プロジェクトであり、「あふの環2030」が主催した「サステナアワード2022伝えたい日本の“サステナブル”」において、当社の「天保山バイオガス発電設備」の紹介動画が2023年1月に「脱炭素賞」を受賞いたしました。



「あふの環2030」が食と農林水産業に関するサステナブルな生産やサービス・商品を扱う地域・生産者・事業者の取り組みに関する動画作品を募集し、79点の応募の中、当社の取り組みは「脱炭素賞」を受賞することができました。

天保山バイオガス発電設備では、当社のプロセスセンターから排出される食品残さの一部からバイオガスを発生させ、それを燃料に発電を行っております。年間約4,380トンの食品廃棄物を削減し、年間の発電量は一般家庭約160世帯分の約70万kWhを見込んでおり、小売業では日本最大規模の設備です。

この受賞を励みに、引き続き当社は事業活動によって生じる社会負荷を低減し、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ・リンク・ローンを締結

当社は三井住友信託銀行株式会社をアレンジャーとして、サステナビリティ・リンク・ローン(以下「SLL」)を締結いたしました。SLLとは融資契約の一種であり、借り手のサステナビリティ目標となるサステナビリティ・パフォーマンスターゲット(以下「SPTs」)を設定し、借入条件とSPTsのパフォーマンスを連動させることによりSPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動や成長を促進することを目指すものです。当社は重要業績評価指標(KPI)に従い下記の通りにSPTsを設定いたしました。

当社は「志の高い信頼の経営」を通じて持続可能で豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念の下、SLLによる融資を活用し、より一層循環型社会・脱炭素社会の実現を目指してまいります。

重要業績評価指標(KPI)	サステナビリティ・パフォーマンスターゲット(SPTs)
①温室効果ガス総排出量削減率(2013年度比)	2030年度に50%まで削減(いずれも2013年度比)
②売上高当たりの食品廃棄量削減率(2017年度比)	2030年度に49%まで削減(いずれも2017年度比)

大阪府内の子ども食堂への食品寄付について



当社は2022年11月に子ども食堂へ食品寄付を開始いたしました。(月1回予定)

11月3日から大阪市の阿波座駅前店・堂島大橋店・土佐堀店から各店舗近隣の子ども食堂へ、また11月18日から大阪平林総合センターより、堺市社会福祉協議会とさかい子ども食堂ネットワーク傘下80以上の団体へ寄付を行っております。

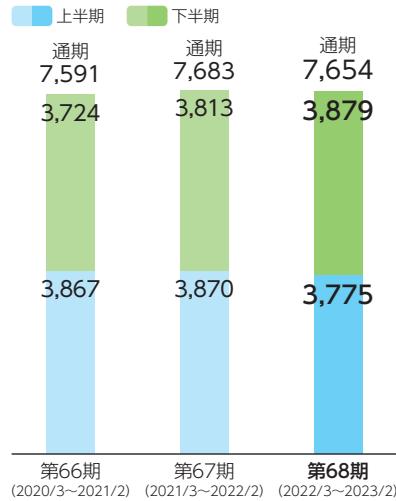
今後も当社事業内容に関連が深く出店する地域への継続的な社会貢献活動として、子ども食堂への支援を実施することで持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。



# 連結決算の概要

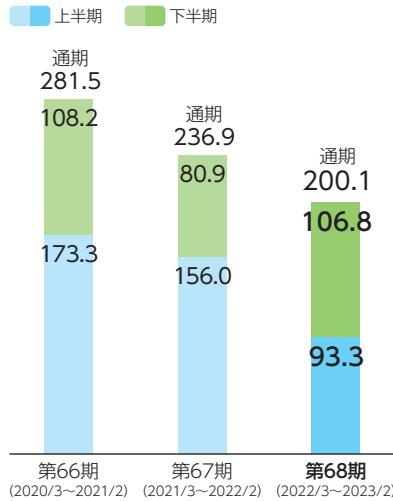
## 営業収益の推移

単位:億円 ※1億円未満切り捨て



## 経常利益の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



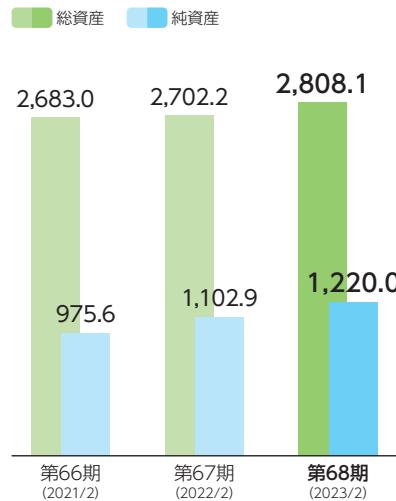
## 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



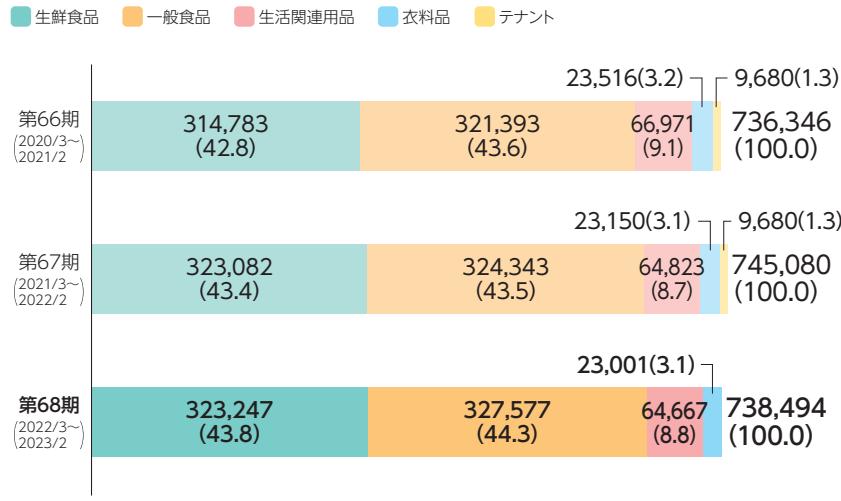
## 総資産・純資産の推移

単位:億円 ※1千万円未満切り捨て



## 部門別売上高の推移

単位:百万円 ( )内は構成比率% ※百万円未満切り捨て



※当連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、収益の会計処理方法が異なるため、テナント売上高は記載しておりません。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

単位:百万円

	当連結会計年度 2023年2月28日現在	前連結会計年度 2022年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	80,490	74,480
固定資産	200,319	195,748
有形固定資産	155,880	150,490
無形固定資産	3,218	3,508
投資その他の資産	41,220	41,749
資産合計	280,810	270,229
<b>負債の部</b>		
流動負債	128,236	132,478
固定負債	30,571	27,451
負債合計	158,807	159,929
<b>純資産の部</b>		
株主資本	121,010	110,923
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,696	5,628
利益剰余金	109,147	99,221
自己株式	△ 3,838	△ 3,930
その他の包括利益累計額	992	△ 623
その他有価証券評価差額金	588	357
土地再評価差額金	△ 1,154	△ 1,114
退職給付に係る調整累計額	1,558	133
純資産合計	122,002	110,299
負債純資産合計	280,810	270,229

## 連結損益計算書

単位:百万円

	当連結会計年度 2022年3月 1日から 2023年2月28日まで	前連結会計年度 2021年3月 1日から 2022年2月28日まで
売上高	738,494	745,080
売上原価	508,911	514,356
売上総利益	229,582	230,724
営業収入	26,931	23,254
営業総利益	256,514	253,978
販売費及び一般管理費	237,365	231,046
営業利益	19,148	22,932
営業外収益	1,134	1,058
営業外費用	268	294
経常利益	20,015	23,695
特別利益	3	249
特別損失	1,377	1,632
税金等調整前当期純利益	18,641	22,312
法人税、住民税及び事業税	4,868	6,684
法人税等調整額	444	420
法人税等合計	5,313	7,104
当期純利益	13,327	15,208
親会社株主に帰属する当期純利益	13,327	15,208

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当連結会計年度 2022年3月 1日から 2023年2月28日まで	前連結会計年度 2021年3月 1日から 2022年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,899	△ 7,926
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 23,839	△ 20,303
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 142	22,695
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 81	△ 5,533
現金及び現金同等物の期首残高	9,409	14,943
現金及び現金同等物の期末残高	9,327	9,409

(注)連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 店舗一覧

## 近畿圏

### 大阪府 126店舗

豊中店	百舌鳥店	歌島店	寝屋川黒原店	緑橋店	住吉山之内店
塚本店	箕面店	関目店	大田町店	御幣店	空堀店
岡町店	福泉店	庄内店	天神橋店	セントラルスクエア	玉出東店
桃山台店	門真店	ビオラル靱店	太平寺店	西宮原店	Miniel西本町店
北野田店	横堤店	喜連瓜破店	三津屋店	京橋店	安田諸口店
高石店	江口店	吹田泉町店	セントラルスクエア	堺駅前店	箕面桜ヶ丘店
忠岡店	守口寺方店	新深江店	なんば店	玉造店	中崎駅前店
福田店	深江橋店	服部店	下寺店	セントラルスクエア	朝潮橋駅前店
豊里店	十三東店	野田店	出屋敷店	北島店	堺インター店
城山台店	四天王寺店	志紀店	石津店	清水谷店	ピオラルエキマルシェ
恵我之荘店	長居店	此花伝法店	西天下茶屋店	森ノ宮店	大阪店
国分店	玉串店	寝屋川店	岸部店	高殿店	セブンパーク
出来島店	住吉店	牧野店	加賀屋店	東淡路店	天美店
滝谷店	都島高倉店	高槻城西店	久宝寺駅前店	羽曳野西浦店	枚方T-SITE店
御崎店	生野林寺店	大仙店	土佐堀店	東淡路店	★守口滝井店
巽店	八尾竹濑店	豊津店	大淀中店	阿波座駅前店	★花園中央公園店
平野西脇店	菱江店	西大橋店	弁天町店	堺筋本町店	★初芝店
今里店	南津守店	香里園店	あびこ店	旭大宮店	
杭全店	崇禅寺店	新石切店	西田辺店	堂島大橋店	
八尾店	本庄店	なかもず店	塩草店	寺田町駅前店	
和泉大宮店	御殿山店	毛馬店	太融寺店	八戸ノ里店	
高井田店	正雀店	三国橋店	東大阪長田店	鶴見今津北店	
泉尾店	新北島店	西九条店	昭和田駅前店	西淡路店	

### 兵庫県 17店舗

甲子園店	今津駅前店
武庫川店	本山店
福崎店	春日野道店
御影店	下山手店
尼崎大西店	須磨鷹取店
浜甲子園店	西宮北口店
西代店	夙川店
神戸駅前店	阪神鳴尾店
長田店	

### 京都府 18店舗

寺田店	二条駅前店
男山店	北白川店
壬生店	セントラルスクエア
西京極店	西大路花屋町店
太秦店	川端東一条店
伏見深草店	智恵光院店
西七条店	四条烏丸店
梅津店	★堀川北山店
宝ヶ池店	★四条大宮店
西陣店	

### 奈良県 3店舗

御所店
大淀店
トナリエ大和高田店

## 164店舗

(2023年2月28日現在)

(注)★印の店舗は、2022年度新規出店であります。

## 首都圏

### 東京都 90店舗

板橋店	赤塚店	大泉学園駅前店	中野坂上店	マチノマ大森店
仲宿店	船堀店	六町駅前店	若松河田駅前店	ムスブ田町店
笹塚店	前野町店	大崎百反通店	新桜台駅前店	桜新店
南台店	北赤羽店	大森中店	ココネリ練馬駅前店	本一色店
竹の塚店	東尾久店	扇大橋駅前店	ポンテポルタ千住店	コモレ四谷店
中目黒店	渋谷東店	江北駅前店	東五反田店	ピオラル丸井吉祥寺店
瑞江店	中野駅前店	大谷田店	錦糸町駅前店	東日暮里店
篠崎店	浅草店	奥戸店	新御徒町店	本郷三丁目駅前店
鹿骨店	武蔵小山店	神田和泉町店	品川御殿山店	ピオラル下北沢駅前店
西大泉店	千川駅前店	南千住店	セントラルスクエア	★セントラルスクエア
府中中河原店	石神井公園店	奥戸街道店	押上駅前店	恵比寿ガーデンプレイス店
深川猿江店	東向島店	大崎ニューシティ店	京急蒲田駅前店	★カメイドクック店
平和台店	東中野店	葛飾白鳥店	西小岩店	★ピオラル新宿マルイ店
土支田店	アクトピア北赤羽店	菊川店	東砂店	★西荻窪店
葛飾鎌倉店	千歳烏山店	落合南長崎駅前店	鷯の木店	★豊洲店
中野新井店	石神井台店	練馬中村北店	キテラタウン調布店	★市谷薬王寺店
大森南店	水元店	目黒大橋店	氷川台店	
新大塚店	亀戸店	上池台店	東馬込店	
経堂店	幡ヶ谷店	西蒲田店	東府中店	

## 132店舗

(2023年2月28日現在)

### 埼玉県 7店舗

北越谷店	吉川栄町店
指扇店	蕨駅前店
吉川駅前店	
新座店	
さいたま新都心店	

### 千葉県 5店舗

松戸二十世紀ヶ丘店
佐倉店
宮野木店
増尾店
市川国分店

### 神奈川県 30店舗

東有馬店	希望が丘店	宮内二丁目店
鶴見店	川崎京町店	戸塚汲沢店
高津新作店	相模原モール店	有馬五丁目店
川崎桜本店	相模原若松店	川崎大島店
川崎御幸店	大倉山店	鶴見下野谷町店
大口店	子母口店	青葉しらとり台店
宿河原店	相模大野駅前店	川崎ルフロン店
相模原駅ビル店	中原井田店	グランシップ大船駅前店
向ヶ丘遊園店	上鶴間店	溝口店
鎌倉大船モール店	宮崎台店	★ピエラ蒔田店

(順不同)

合計  
**296**店舗

# 会社情報

## 会社概要 (2023年2月28日現在)

商号	株式会社ライフコーポレーション LIFE CORPORATION
創業	1910年
設立	1956年10月24日
資本金	10,004,000,000円
従業員の状況 (単体)	人数:7,117名 平均年齢:41.0歳 平均勤続年数:15.3年
本店及び各本社	本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号 電話(03)3661-4001(代)
	大阪本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原二丁目2番22号 電話(06)6150-6111(代)
	東京本社 〒110-0016 東京都台東区台東一丁目2番16号 電話(03)5807-5111(代)
グループ会社	株式会社ライフフィナンシャルサービス (クレジットカード、電子マネー事業)
役員一覧	※取締役社長執行役員 岩崎 高 治 取締役専務執行役員 並木 利 昭 取締役専務執行役員 森下 留 寿 取締役常務執行役員 角野 喬 取締役常務執行役員 河合 信之 取締役 成田 恒一 取締役 矢矧 晴彦 取締役 河野 宏子 取締役 片山 隆 常勤監査役 末吉 薫 監査役 浜平 純一 監査役 真木 光夫 監査役 宮竹 直子

(注)※は、代表取締役であります。

## 株式情報

### ○株式の状況

(2023年2月28日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	49,450,800株
株主数	7,676名

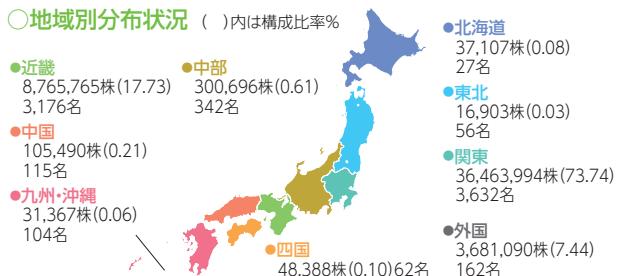
### ○大株主

株主名	持株数(株)
三菱商事株式会社	10,562,500
清信興産株式会社	5,382,000
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,238,500
公益財団法人ライフスポーツ財団	3,229,200
ライフ共栄会	2,322,212
三井住友信託銀行株式会社	2,264,000
農林中央金庫	2,100,276
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,104,200
住友生命保険相互会社	737,000

### ○所有者別分布状況

所有者	株主数(名)	株式数(株)	構成比率(%)
金融機関	26	12,663,026	25.61
証券会社	24	670,004	1.36
その他の国内法人	335	24,122,673	48.78
外国法人等	190	3,690,506	7.46
個人・その他	7,100	5,866,105	11.86
自己株式	1	2,438,486	4.93
合計	7,676	49,450,800	100.00

### ○地域別分布状況 ( )内は構成比率%



## 単元未満株式の買取請求のご案内

単元未満株式の買取請求とは、1単元(100株)未満の当社株式を、株主様が当社に対して時価で売却することができる制度です。1単元(100株)未満の株式は証券取引市場で売買していただくことができません。

### 単元未満株式の買取りに関するお手続き

- 証券会社に口座を開設されている株主様  
証券会社の口座に記録されていない単元未満株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設をした特別口座に記録されておりますので、上記「株主メモ」欄の電話照会先にお問い合わせください。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様  
証券会社の口座に記録をしていない単元未満株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設をした特別口座に記録されておりますので、上記「株主メモ」欄の電話照会先にお問い合わせください。

## 株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 5月

基準日 定時株主総会 2月末日  
期末配当金 2月末日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定められた日  
中間配当金 8月31日

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

[公告掲載アドレス] <http://www.lifecorp.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

単元株式数 100株

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についての住所変更等のお届出及びご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは財務情報のほかにも、お店のチラシやネットショップ、ネットスーパーなどのお買い得商品のご紹介、お料理レシピや社会・環境活動報告書をご覧ください。ぜひご利用ください。



<http://www.lifecorp.jp/>